

車座会議報告書

産業厚生常任委員長 古野 司

1月19日月曜日夜7時から役場交流センターにおいて第2回目となる意見交換会が開催されました。今回は町内の林業事業体で組織されている若手林業家グループ『山武者』の皆さんをお招きし、林業が抱えている諸問題について、林業復活と森林再生に向けてどう取り組むべきか、また町行政や議会に対して望むことはないかをテーマとして話し合いをいたしました。グループの皆さん方には、昼間の重労働で大変お疲れのところ、夜分の開催にもかかわらず、9名の方にご出席をいただくことができました。

会議では三つのグループに分かれてテーマごとにディスカッションが展開された後、各グループの代表者から意見発表をしていただきました。以下に発表のあった意見の一部を紹介します。たくさんの意見が出されたなかでも特に多かったのは、日雇い労働であり、時期や天気によって左右されるため収入が安定していないこと、危険を伴う仕事であるため、ケガや後遺障害などが心配であるといったこと、また山の仕事を求めて那賀町に移住を決めても空き家などの住宅情報が少なく、住まい探しに苦労したといった意見も出されたほか、町や議会に対しては、先進地視察や林業体験ツアーへの助成また特殊大型車両の免許取得にかかる経費の助成等の補助事業の創設を求める声が多く出されました。その他にも、小規模林地所有者のなかには適正な管理がなされていない森林が多く、山林の荒廃につながっているのを指導して欲しいという声も聞かれました。

議会といたしましては、『山武者』の皆さん方の貴重なご意見をお聞きすることができ、今後の議会活動に活かせるよう努力してまいりたいと考えております。

林業再生こそ那賀町の生きる道です。地方創生が叫ばれているなか、我が町最大の資源である森林をどう活かすかによって町の将来は決まってくると言っても過言ではありません。林業従事者の育成はもとより、林業がますます活性化されるよう本町の最重要課題として位置づけ、町長と共に汗を流していきたいと考えております。

